

政策	22 生活環境の充実					
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
対象	市民全般					
施策が目指す姿	種別に応じた適切な規模・機能を有する公園緑地が整備され、地域の主体的取組みによる既存公園の維持管理や、いつまでも安全・安心に利用できる長寿命化の取組みを進める。墓地及び火葬の需要に対応した墓園の整備や既存墓園の維持管理、斎場の再整備を図る。定住を促す市営住宅の適正な維持・保全や利便性を高める生活道路の整備が進められるほか、空き家等の適正管理や有効利用を図る。					
成果指標	居住環境の整備の市民満足度・・・5年間(H30～H34)60%(現状値55.1%) 斎場墓地に対する満足度・・・5年間(H30～H34)60%(現状値57.7%) 道路の整備・保全の市民満足度・・・5年間(H30～H34)55%(現状値45.8%) 市道の舗装率・・・5年間(H30～H34)89.2%(現状値85.6%) 市道の改良率・・・5年間(H30～H34)65.8%(現状値65.4%)					
目標達成状況		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標1 [%]	予定			60.00	
		実績				
	成果指標2 [%]	予定			60.00	
		実績				
	成果指標3 [%]	予定			55.00	
		実績				
	成果指標4 [%]	予定	85.60	86.50	87.40	88.30
実績		86.20	86.20			
トータルコスト (千円)	予定	2,308,114	2,130,485	2,469,697	0	0
	実績	2,158,797	2,130,485	2,469,697	0	0
内部評価	貢献度	基本方針の「心地よく暮らせるまちづくり」を進める上で公園緑地や斎場・墓園、市営住宅、生活道路等の整備、維持管理は本施策指標である市民満足度の重要な要素となる。				
	達成状況	下位単位施策である施設等の整備・維持管理状況については概ね目標通り進捗している。新斎場については、整備手法をPFIに決定し、実施方針を策定、入札公告等を行った。				
	課題	公園施設や生活道路において、整備や維持・修繕が十分でない箇所が見受けられる。新斎場については、事業者を決定する総合評価一般競争入札を公平公正に実施する必要がある				
	取組方針	各施設の現状把握に努め、計画的な整備及び適正な維持・管理を実施していく。新斎場については、整備スケジュールに合わせ、関連事業をスムーズに進める。				
外部評価	移住・定住の推進を図る上で、市民の憩いの場となる公園や身近な生活道路の整備・維持管理、空き家対策等生活環境の維持・向上は極めて重要であることから、引き続き、各政策の推進を図りたい。 しかしながら、公園については、元来は住民の憩いの場として多くの住民に利用されていたが、近年では、どの公園を見ても利用者は大きく減っているものと見受けられることから、今後は、市民が公園に求めるニーズを的確に把握し、必要な措置を講じられたい。 特に運動公園は、ウォーキングの利用者が多く、ウォーキングコースや街灯等の環境整備なども一考願いたい。 また、空き家による問題による地域の生活環境への影響も顕著化しているとともに、防犯上の視点からも、空き家対策の強化を図られたい。					
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称			トータルコスト(千円)	達成度
	2201	公園緑地の維持・整備			500,880	100
	2202	衛生環境の充実			540,595	100
	2203	住環境の維持・向上			1,029,748	100

基本 施策評価表 補表

施策	22 生活環境の充実		
区分	妥当性	妥当	施策の目的を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	有	コスト削減のため、効率的な維持管理につとめる。
	受益者負担	適正	受益者負担については、適正である。
	上位貢献度	有効	施策の目的を達成するために有効である。
	類似事業の有無	無	代替事業はない。
	成果向上の余地	有	適切な事業実施により、適正な維持管理が見込まれる。
内部評価	貢献度	基本方針の「心地よく暮らせるまちづくりを進める上で公園緑地や斎場・墓園、市営住宅、生活道路等の整備、維持管理は本施策指標である市民満足度の重要な要素となる。	
	達成状況	「5つ中3つの成果指標に市民満足度が設定されているが、5年に一度の指標では、達成状況を毎年評価することは出来ず、客観的評価できる指標の設定を望む」とのご指摘については、施策の実現・達成状態をわかりやすく的確に把握することができる指標について、次期指標設定時に検討したい。トイレの洋式化については、公園施設の2箇所を実施した。公園への健康遊具の設置、新墓地への樹木葬等への対応については、市民ニーズを慎重に判断し検討を継続する。また、空き家政策についての、費用対効果の検証を継続する。	
	課題	施設等の整備や適正な維持管理に長期的に努めていく必要がある。	
	取組方針	道路・公園・市営住宅施設等の老朽化状況等などの現状把握及び空き家等の情報収集に努め、計画的な整備・補修・管理を実施する。 また、新斎場については、早期供用開始を目指し、事業関連事務を推進する。	